

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026年3月5日

事業所名：放課後等デイサービス つばめ療育館

対象人数（保護者）28人 回答者数 23人 回収 82.1%

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		2	課題やリラックスなど、用途に分けられている点が良いと思います。	活動場所を児童発達支援と放課後等デイサービスとで分け、専用のトイレを増設し十分な活動スペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	3		2		小集団支援に加え、個別対応が可能な職員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		3		事業所内はバリアフリー化され、玄関内側の床はグレーと赤で識別しています。赤の部分にフロアマットを敷き、マット上で靴の脱ぎ履きをもらえるように玄関ドアにイラストを貼付しています。 ハード面ではスロープ、手すり、点字ブロック、車いす用トイレ等を整備しています。 運動課題を行う広いスペースと個別対応が可能な個室があり、わかりやすい環境にしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19		3	1		支援室の衛生管理は、徹底してまいります。毎日の清掃はもちろんのこと、支援室や用具の消毒を行っています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1		1		全国的に活動されている発達支援コンサルタントと業務委託を結び、より専門性重視の支援に努めています。 作業療法士、保育士などが在職していますが、同コンサルタント主催の専門研修の受講などで計画的にスキルアップを図っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		2		日々、振り返りをして個々の改善を評価しています。プログラムを変更する場合は、HGUマイページなどでお伝えするようにいたします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1		1	いつも丁寧にヒアリングしていただき、保護者の気持ちも汲み取って計画を作成してもらっています。	定期的なモニタリングの時や保護者のお迎え時等にお伺いし、ニーズの把握に努め、放課後等デイサービス計画への反映に努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		1		ガイドラインに沿った児童発達支援計画書の支援内容にしています。 ガイドラインと別の視点での専門性も取り入れています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21		2			担当する職員は、児童発達支援計画の達成目標を認識し、日々のサービスを提供しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	5		2		利用児の年齢や能力に応じた個別支援に心がけています。具体的な改善効果に着目し、たとえば、変化がみられないようなら、課題の着眼点を変更しています。 個々の目標を達成するためには、成功体験の積み重ねが大切です。できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。 学校の長期休業時には、外出活動などを織り交せて、メリハリのある支援に努めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	6	10		障害のない子どもとの交流については、現利用児の現況等で判断すると、必要性を感じていません。社会的の前に自立力向上の課題が優先すると考えています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	21	1		1		見学時や利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っています。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	3		1		利用開始や更新時に、丁寧に説明を行っています。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5	1	9		ご利用児の年齢のご家族を対象とするペアレント・トレーニング等は、企画が難しいと考えます。就労保障の意味合いを含めたレスパイトを望まれていると想定します。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	3		1		保護者とは、同行時にお話をさせていただいたり、連絡帳、HUGマイページ、電話、メール等で利用時の状況や課題について随時連絡を取り合っています。 疑問点などご利用時などにお聞きいただければお答えさせていただきます。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	2	2	送迎時では伝えきれないことを連絡すると、必ずご回答いただきとも参考になります。	モニタリング時や送迎時に、保護者からのお悩みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			2		一方的な指示にならないよう、共感的な支援を心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		5	6	12		特に父母の会や保護者会等の開催はありません。限られた利用期間に事業所の呼びかけで、保護者会等の結成が必要かどうか疑問に思っています。何よりご利用児の自立力向上が優先と捉えています。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2	1	6		保護者からの相談や申し入れに対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	3		2		保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。ご利用児には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20			3		隔月の会報「おたより」やHUGマイページを活用して、近々の情報をお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1		個人情報取扱規程に基づき、施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		6		保護者に対しては特に周知はしていませんが、マニュアルを作成し、所内に要点の掲示や閲覧ができるように設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			5		年に2回、火災や地震を想定した避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		3		職員にはインシデント報告を徹底し、事故防止に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17		1	5		事故等（怪我等を含む。）が発生した際には、保護者へ速やかに連絡を取り、状況説明等を行っています。事故防止マニュアルに基づき、必要な時には関係機関へ報告を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	4				運動課題や個別課題では、個々の自立力に合わせた課題を提示し、成功事例の積み重ねを原則に安心感を与えられるよう心がけています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	3		1		大半の利用児が、楽しさを感じてご利用いただいていることは喜ばしいことです。ただし、発達支援プログラムには、自立力の向上を目的とする意味合いが込められていますので、「楽しんで…」が目的ではないと捉えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2			個人にあった支援をしていただき感謝しています。引き続きご支援をよろしく願っています。	ほとんどの保護者から満足いただいていることは、有りがたい限りです。より満足いただくためには、ご利用児の「成功」の積み重ねが自立力向上に繋がると認識しています。今後も、ご家族、ご本人とのコミュニケーションを大事にしながら、安心して利用していただけるよう、職員一同努力して参ります。